

宇都宮市立海道小学校 第6学年 児童質問紙

★傾向と今後の指導上の工夫

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

- 「朝食を毎日食べていますか」の質問に肯定的に回答した児童の割合が100%である。
市の学校教育スタンダード「基本をしっかり！」を踏まえ、家庭と連携した食育を継続的に行った成果であると考えられる。今後とも、たよりや保護者会などで呼びかける。
- 「学校で、友達に会うのは楽しいと思いますか」の質問に、肯定的に回答した割合は100%である。
「学校が楽しい」については、県を下回っているが、友達との生活は楽しんでいる。今後とも、望ましい人間関係を形成していけるよう配慮する。
- 「携帯電話やスマートフォンの使い方について、家の人と約束したことを守っていますか」の質問に肯定的に回答した割合は100%である。(所持している児童の割合は約6割)
「テレビを見る時間やゲームをするなどのルールを家の人と決めていきますか」の質問に肯定的に回答した割合は71%で、県を12.5%上回る。「スマホ・ケータイ宮っ子ルール」の周知、保護者会での生活習慣と学力との関連についての説明などにより、家庭の理解と協力が得られている成果であると考えられる。
今後、所持率が高くなっても、ルールの徹底が図れるよう、家庭と連携する。
- 「自分には、よいところがあると思いますか」という質問に肯定的に回答した割合は61.3%で、県を18.4ポイント下回る。
学校で最高学年として活躍する場を活かして、児童一人一人のもつよさが様々な場面で発揮できるようにし、存在感や有用感をもたせる。また、困難と思える場面を克服したときに得られる満足感や成就感を味わわせ、自信をもたせていく。
- 「学校のきまりを守っていますか」、「人が困っているときは、進んで助けますか」の質問に肯定的に回答した割合は、71%、67.8%で、県を23.7ポイント、20.8ポイント下回る。
日常生活や道徳の授業などを通して、ルールやマナーを守り集団生活を送ること、思いやりや共生の精神の大切さを理解させ、実践意欲と態度の向上を図る。
- 「学級会などの話し合い活動で、自分とは異なる意見や少数意見のよさを生かしたり、折り合いをつけたりして話し合い、意見をまとめていますか」の質問に肯定的に回答した割合は19.3%で、県を36.2ポイント下回った。
今後は、本校が研究、実践している学級活動での話し合いや各教科での話し合い学習を行う中で、友達と共に課題を解決していく体験を増やし、話し合うことのよさを味わわせるとともに互いに高め合っていく態度を育てる。

宇都宮市立海道小学校（第6学年） 学力向上に向けた学校全体での取組

★学校全体で、重点を置いて取り組んでいること

重点的な取組	取組の具体的な内容	取組に関わる調査結果
授業における本時のめあての提示	授業の始めに本時のめあてを掲げて授業を開始する。	「5年生までに受けた授業の中で、目標(めあて・ねらい)が示されていたと思いますか。」の質問に肯定的に回答した児童が87.1%で、県と比べて5.7ポイント低い。
授業における振り返り活動の徹底	授業の終わりに本時のめあてにそった振り返り活動を行う。	「5年生までに受けた授業の最後に学習内容を振り返る活動をよく行っていたと思いますか。」の肯定割合は51.7%で、県と比べて29.0ポイント低い。
家庭学習の習慣化	3・4年生は1日40分、5・6年生は1日60分以上行う。家庭学習は自主学習と宿題とし、自主学習は毎日提出させ、宿題は教師が土日を除いて復習の内容を配付する。	「学校の授業時間以外に、普段、1日あたりどのくらいの時間、勉強していますか」の質問に60分以上と回答した児童の割合が77.5%で、県と比べて8.3ポイント高い。
